



今年も利用者の皆さんお楽しみの、「夏まつり」を8月3日に行いました。皆さん、昼間の作業を終えていよいよ始まりです。定番のラムネの早飲み、スイカの早食いは勢いよくラムネが泡を噴いたり、スイカは種が飛んだりと賑やかに始まりました。他にもマジックショーやオカリナ演奏の披露があり、皆さんの熱気も最高潮になり、日中の作業の時とは違った一面を見せて頂きました。

また来年も皆さんに楽しんでいただけるよう企画していきたいと思います。

初参加の利用者の方も、催し物や抽選会に参加し、とっても楽しい夏まつりでしたと喜んでおりました。

また来年も皆さんに楽しんでいただけるよう企画していきたいと思います。

笠真里恵さん

宮下秀昭さん

馬場澄子さん

夏まつりポスター

事業報告

【生活介護・施設入所支援事業全般】

平成29年度生活介護事業・施設入所支援の利用状況は、生活介護事業（通所利用者含む）が平成29年度末現在で61名の方が利用されています。施設入所支援においては平成29年度末現在で60名の方が利用されています。

障害支援区分（平均）については、生活介護（日中）¹、入所支援（夜間）²と年々、利用者の重度化、高齢化に伴い、4.2生産活動では、クリーニング、珈琲、軍手、ウエスの各種作業を行い又、日中活動では、機能訓練、創作活動、趣味活動、1日外出支援、半日外出支援等の充実を図りました。

施設生活全般（生活・医療・介護・食事）においては、利用者の方が、安全、安心に施設生活を過ごせるよう利用者主体のサービスの提供を行いました。

医療面では、通常年2回の健康診断の他に2年目となる歯科検診、病院受診時の引率付き添い、施設等を行い、健

康維持・増進に努めました。

介護面では、利用者個々の身体状況に応じて検討し、その状態にあつた食事提供支援

及び入浴支援、外出支援時の引率付き添い支援等の支援を行いました。

生活面では、随時会議及び検討会を中心とした各部署ごとの会議及びスキルアップ研修を実施し職員個々のスキルアップにつなげると共に利用者本人のニーズ（状態）にあつた支援を行いました。

また、利用者間の相談・苦情・訴えにおいては、傾聴に心がけながら状況を把握し相談支援、苦情解決支援に努めました。

個別支援においては、尊厳・自立・共生を基本とし、本人の意向、適正、個々の障害の特性その他事情を踏まえ、個別支援計画に基づいたサービスの提供を行いました。

他、相談支援事業所及び関係機関との連絡調整や会議を行いながら、サービス等利用計画書の作成及び情報提供に努めました。

食事面では、療養食及び身体状況に応じた食事（刻みやソフト食など）の提供を行ないながら、関係職員と連携を図り利用者の健康管理に努めました。

尚、今年度は、心地よい環境の中で施設生活が過ごせるよう、好きな音楽CDを持ち寄つてのBGMを全館に流しリ

用者の健康管理に努めました。

また、作業（生産活動）及び日中活動を行う前の準備運動の一環として毎朝利用者・職員全員でラジオ体操を実施しました。

尚、毎朝のラジオ体操を実施した事によって、日頃体を動かす事が少ない重度利用者を含め笑顔もあり、朝一番の心身のリフレッシュになつているようにも感じました。

行事関係では、利用者全員（希望者）を囲つてもらうために、平成29年8月27

日（日から8月28日（月）の2日間に渡つて、福岡方面（ヤフオクドーム、スペルボックでの野球観戦及びマリノアシティ福岡でのショッピング）への1泊旅行を実施いたしました。

利用者（通所利用者含め）30名、職員15名の計45名が参加しました。参加さ

れた利用者の方からは「今までの旅行の中で、一番いい旅行でした。」等の言葉もいただきました。

【就労継続支援A型事業全般】

平成29年度のA型利用の動向として、就労継続支援B型からの1名の移行があり、平成29年度末現在でA型事業の現員は4名です。又、賃金については全ての従業者に最低賃金を保障し、平均賃金額一三五、四八四円を支給いたしました。

利用者の育成面では、主力で作業に取り組まれている従業者も年齢と共に体力低下も見られるようになり、計画的に後継者を育てる必要性を感じています。そのような中、今年度は個人の作業技術、知識の向上を図り、就労継続支援B型利用者の習熟度の高い利用者1名を就労継続支援A型利用へと移行されました。移行された方については、通常の作業はもとより、これまで全くミシン作業ができぬ状態からではあります。

また、作業（生産活動）及び日中活動を行つた際の準備運動の一環として毎朝利用者・職員全員でラジオ体操を実施しました。

尚、毎朝のラジオ体操を実施した事によって、日頃体を動かす事が少ない重度利用者を含め笑顔もあり、朝一番の心身のリフレッシュになつているようにも感じました。

行事関係では、利用者全員（希望者）を囲つてもらうために、平成29年8月27

日（日から8月28日（月）の2日間に渡つて、福岡方面（ヤフオクドーム、スペルボックでの野球観戦及びマリノアシティ福岡でのショッピング）への1泊旅行を実施いたしました。

利用者（通所利用者含め）30名、職員15名の計45名が参加しました。参加さ

れた利用者の方からは「今までの旅行の中で、一番いい旅行でした。」等の言葉もいただきました。

【就労継続支援B型事業全般】

平成29年度のB型利用の動向として、新規契約5名、契約終了者7名の計12名の変動があり、平成29年度末現在でB型事業の現員は33名です。又、B型の工賃についていた機械の不具合が解消され、作業効率が高まり安定した製品の提供ができました。又、早めに入替ができることでボイラーや印刷事業部では、顧客への訪問や電話



作業環境面では、クリーニング工場内営業関係では、得意先に「顧客満足度調査」を実施して、調査結果や日々お客様から挙げられる意見や要望を就労支援会議にて検討を行い、より良い製品の提案やアドバイスなど、お客様の立場になって取り組んでいただけるよう改善に努めました。

また、クリーニング営業の定期訪問での情報収集等により、1件の新規契約を締結することができました。

また、クリーニング事業部では、長年使用し老朽化したロールアイロナーナーを新しく入れ替えたことにより、蒸気漏れ等で発生していた機械の不具合が解消され、作業効率が高まり安定した製品の提供ができました。又、早めに入替ができることでボイラーや印刷事業部では、顧客への訪問や電話

注文での対応、年末の欠札状・年賀状注文にも迅速に対応し、お客様の希望に合わせた校正を行い製品を提供しました。

珈琲事業部では、広報・営業活動として福祉施設商品展示会への参加、天草管内の地域物産展・TSUTAYA等での販売及び試飲会、各種イベント販売会に出演しました。又、苓北町役場での「ふるさと納税」に商品登録を行い、東京都と鹿児島県の方からそれぞれ注文をいただき発送しました。

全体の作業環境面では、A型のクリーニング第2工場同様、第1工場及び印刷・珈琲作業棟も工場内・作業場全体を明るくし、製品の不良を確実に発見できることや、作業全体の効率が高くなることや、作業全体会率が高くなること、合わせて電気使用量の削減、照明熱での火災等防止の安全面強化の観点からも、使用者が年齢と共に体力低下も見られ計画的に後継者を育てる必要があります。使用者について、若い利用者も増えつつあります。A型同様、B型においても一部利用者が年齢と共に体力低下を感じています。

注文での対応、年末の欠札状・年賀状注文にも迅速に対応し、お客様の希望に合わせた校正を行い製品を提供しました。

珈琲事業部では、広報・営業活動として福祉施設商品展示会への参加、天草管内の地域物産展・TSUTAYA等での販売及び試飲会、各種イベント販売会に出演しました。又、苓北町役場での「ふるさと納税」に商品登録を行い、東京都と鹿児島県の方からそれぞれ注文をいただき発送しました。

全体の作業環境面では、A型のクリーニング第2工場同様、第1工場及び印刷・珈琲作業棟も工場内・作業場全体を明るくし、製品の不良を確実に発見できることや、作業全体会率が高くなることや、作業全体の効率が高くなること、合わせて電気使用量の削減、照明熱での火災等防止の安全面強化の観点からも、使用者が年齢と共に体力低下も見られ計画的に後継者を育てる必要があります。使用者について、若い利用者も増えつつあります。

注文での対応、年末の欠札状・年賀状注文にも迅速に対